平成27年度　目標管理シート （課別組織目標）

課かい名	健康推進課	課かい長名	蒲生　尚子

組織目標	・心身ともに健康な状態で妊娠・出産を迎え、安心して子育てができるよう、妊娠中から子どもの就学前まで、切れ目のない健康支援を行います。 ・生活習慣病の早期発見と生活習慣の改善を図るため、正しい知識の普及と実践を促すとともに、各種健康診断の受診促進を図ります。 ・循環器疾患・糖尿病の発症予防及び、重症化予防を行います。

課重点事業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	中間レビュー （10月1日時点） ・上半期（4月～9月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（10月～3月）に向けた課題等	中間進捗度	目標の達成状況（3月末時点見込） ・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果(達成できなかった事由、理由等)	達成度	次年度に向けて（引継ぎ事項） ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
健康推進課①	**特定健診・特定保健指導の充実強化** 健康福祉部②	①具体的目標	①特定健診の受診者数の増加を目指す。（目標受診率40%） ②特定保健指導等を強化し、高血圧、脂質異常症、糖尿病等の疾患やメタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少を目指す。	目標①について ・一括申込を廃止し、前年度の受診者に受診券を送付することで、申込方法の簡素化を図る。 ・巡回健診の日程を増やし、健診項目に前立腺がんを追加する。 ・特定健診未申込者に対して、医療機関健診の受診券（黄色受診券）を送付し、受診勧奨する。 ・未受診者に、非常勤職員（看護師2名）の訪問、電話による受診勧奨を行う。 ・医療機関と連携した受診勧奨に加え、薬局と連携した特定健診等の案内についても検討を行う。 ・40歳から55歳までの5歳刻みの節目年齢を対象に特定健診の受診者負担額を無料とする。 目標②について ・保健指導対象者を明確化し、早期の段階での保健指導を実施する。 ・効果的な指導内容の充実を目指し、指導に従事するスタッフ研修を実施する。 ・住民自治協議会など関係機関との連携を強化し、地域での学習の場を設定し、地区の健康課題や生活習慣病予防等についての情報提供を行う。 ・印刷物やラジオなど多様な媒体を利用した広報活動を実施する。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	①新規の受診者数が減少しており、未受診者対策が課題である。 ②市では、腎臓機能障害による人工透析療法を受けている患者が多く、医療費の増大にもつながっている。 　そこで、特定健診結果から状態に応じた保健指導等を実施し、生活習慣病の発症の予防・重症化予防につなげることが重要である。							②課題・特記事項等	
健康推進課②	**各種がん検診の受診促進** 健康福祉部②	①具体的目標	①各種がん検診の受診者数を増やし、がんの早期発見、早期治療へ結びつける。 ②要精密検査者の受診勧奨を徹底し適切な治療に繋ぐ。	目標①について ・これまでの一括申込を廃止し、平成28年度健診申込から前年度の受診履歴を優先し、受診券を送付することで、申込方法の簡素化を図るなど、わかりやすい健診申込方法にする。 ・巡回健診の地域拡大と健診項目に前立腺がんを追加し、魅力ある健診内容にする。 ・非常勤職員（看護師2名）の訪問による特定健診受診勧奨とともにがん検診の受診勧奨も行い、未受診者対策を強化する。 ・住民自治協議会など関係機関との連携を強化し、地域での学習の場を設定し、がん予防についての情報提供を行う。 ・印刷物やラジオなど多様な媒体を利用した広報活動、健康教育等を実施するなど、早期発見、早期治療の重要性を広く周知する。 目標②について ・健診委託機関と連携し、精密検査未受診者に対し、はがきや電話等での受診勧奨を行う。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	①がんは早期発見・治療により死亡を減少させることができる疾患である。検診の効果は大きいにも関わらず、受診者数が減少傾向にある。 ②精密検査未受診者が多い。がんの早期発見・治療に結びつけるためにも、精密検査の受診率向上を目指す必要がある。							②課題・特記事項等	

課重点業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	中間レビュー （10月1日時点） ・上半期（4月～9月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（10月～3月）に向けた課題等	中間進捗度	目標の達成状況（3月末時点見込） ・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果（達成できなかった事由、理由等）	達成度	次年度に向けて（引継ぎ事項） ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
健康推進課③	**母子保健の充実** 健康福祉部①	①具体的目標	①子どもを安心して産むために、妊娠中から不安を抱えた妊婦への支援と保健指導を充実し、低出生体重児の減少を目指す。 ②安心して子育てができるよう、産後から乳幼児期を通じて一貫した、育児支援・健康支援を充実する。	目標①について ・妊娠届時に妊娠や出産に悩みを抱えている妊婦を把握し、医療機関等と連携した支援サービスに繋ぐ。 ・定期妊婦健康診査の受診勧奨と、妊娠中の健康管理の必要性について周知する。 ・妊婦健康診査の受診結果で高血圧・高血糖等の異常がある妊婦に対し、医療機関と連携した栄養指導、資料配布を行う。 目標②について ・低出生体重児や生後4か月までの乳児家庭を全戸訪問し、子育てに関する情報提供や、相談に対する助言指導を行う。 ・さらに支援が必要な家庭には、関係機関と連携して、継続した訪問支援を行う。 ・各種乳幼児健診を通じて、発達段階に応じた栄養・睡眠等、個別保健指導を強化する。 ・健診後、発達面等で様子観察が必要な児に対しては、さらに、こども発達相談や訪問指導等で、保護者の不安を聞きながら、専門機関への受診勧奨や個々に応じた育児の仕方を指導する。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	①平成25年の低出生体重児割合は前年より増加していることから、妊娠中から医療機関と連携した保健指導を充実する必要がある。 ②朝食をきちんと食べない、就寝時間が遅いなど健康的な生活習慣ができていない家庭が増加傾向にある。乳児期から生活習慣の確立に向けた健康支援が必要である。							②課題・特記事項等	